

## JSPS Information

- ◇第6回運営委員会議事録
- ◇第1回総会議事録
- ◇第2期役員名簿
- ◇賛助会員名簿

### ◇日本惑星科学会第6回運営委員会議事録

開催日時：1993年3月20日(土)18:00~20:30

開催場所：東京都立大学教養部206教室

出席者：中沢・水谷・山本・藤原・向井・留岡・  
荒川・大谷・海老原・加藤・北村・高  
木・土山・福岡・藤井（以上出席者）・  
杉浦・松井・磯部・川口・林・村江・  
柳川（以上委任状）

#### 1. 報告

##### (1) 第2期役員選挙結果

藤原選挙管理委員長より日本惑星科学会第2期役員選挙の投票結果について報告があった。（ニュースレター惑星科学 No.6参照）。

##### (2) 会則の見直しについて

役員選挙を行ってみて、会則に不十分な点がある旨藤原総務専門委員長より指摘があり、また中沢会長より、今後更に運営経験を積んだ上で、日本学術会議学術研究団体登録時期までに会則改訂を考えたい旨発言があった。

##### (3) 総会議案書中の会員数について

第1回総会成立の基数となる現会員数（3月20日現在）は370名である旨中沢会長より報告された。

#### 2. 議事

##### (1) 委員会成立の確認

委員会成立を確認した上で、荒川委員を書記に

選んだ。

##### (2) 第2期役員について

役員人選については、立ち上げ期から努力していただいております、しかもまだ運営体制が固まっていないことから第2期役員は出来るだけ第1期役員を継続する形でお願いしたい旨中沢会長より要請があり、了承された。これを受けて、中沢会長より、第2期副会長、会長指名8運営委員候補が提案され、了承された。

##### (3) 第2期会計監事候補について

第2期会計監事は、中野武宣氏、松田准一氏に留任していただくこととし、信認のため公示に付すこととなった。

##### (4) 第1期会計報告

第1回総会議案書をもとに、欠席の杉浦財務専門委員長にかわって中沢会長より説明があった。この説明をもとに若干の議論があり、了承された。

##### (5) 第1期活動報告

第1回総会議案書をもとに中沢会長より説明があり、了承された。その際「遊・星・人」編集印刷費の圧縮、学会誌への広告掲載等が意見として出された。

##### (6) 第2期活動方針案

第2期活動方針案について第1回総会議案書をもとに中沢会長より説明があり、了承された。

## (7) 第2期活動予算案

第1回総会議案書をもとに中沢会長より説明があり、了承された。

## (8) 第1回総会議長団候補選出について

議長を藤井直之氏、書記を阿部豊氏にお願いすることとなった。

## (9) 学会誌投稿規定の改正について

「遊・星・人」編集印刷費圧縮の一環として、著者への別刷り贈呈をやめ、その代わりに学会誌数冊を著者に贈ることとするとの編集専門委員会の方針が同委員長より報告され、それに伴う投稿規定の改正案が示された。

新

別刷りを必要とする場合は50部を単位として注文することができる。別刷り代金は実費相当とするが、詳細は別途定める。なお、別刷りに表紙はつけない。

旧

別刷り50部は著者に寄贈される。50部以上の別刷

りを必要とする場合は50部を単位として追加注文することができる。別刷り追加代金は実費相当とするが、詳細は別途定める。なお、別刷りに表紙はつけない。

若干の質疑を経て、原案通り了承された。

## (10) 第2期専門委員会の構成について

中沢会長より、運営委員会と同様専門委員長についても第1期委員長が引きついで欲しい旨要請があり、了承された。これを受けて留岡将来計画専門委員長より、同委員会に山本哲生氏を加えたい旨要請があり了承された。更に2～3名の委員を加えることも検討された。また、編集専門委員会の第1期委員は専門分野に偏りがあるのではないかと指摘があり、向井専門委員長に検討してもらうこととした。一方、財務専門委員会を強化するため、第1期委員に加え北村・福岡両氏に加わってもらってはどうかとの提案があった。

(以上)

## ◇日本惑星科学会第1回総会議事録

開催日時：1993年3月21日（日）16：00～17：30

開催場所：東京都立大学教養部

出席者数：122名（内委任状67名）

## 1. 開会宣言

藤原総務専門委員長の開会宣言の後、藤井直之会員を議長に選出した。

## 2. 議事

## (1) 第1期活動報告

総会議案書をもとに、中沢会長の基調報告、向井正委員長による編集専門委員会報告、藤原委員長による総務専門委員会報告、留岡和重委員長による将来計画専門委員会報告があった。また、1月18～19日に開催された「21世紀に向けての惑星科学」シンポジウム開催の経緯については佐々木

晶企画部会長から報告があった。

引き続き第1期会計年度の会計報告が杉浦直治・財務専門委員長からあり、120万円の借入金を余儀なくされていることなど、学会の財政が極めて厳しい状態にあることが明らかにされた。次いで中野武宣、松田准一両監事による「おおむね健全と認める」という会計監査報告を藤井議長が代読した。監査報告中「おおむね」とあるのは「運営委員からの120万円の借入金があるため、極めて健全とは言い難い」との意である旨報告があった。

続いて質疑討論が行われ、はじめに渡部会員が第1期会計年度の大赤字の一因となった賛助・会費収入500万円の見積根拠を質した。これに対し、中沢会長から、設立準備段階での予備調査で150口を超える賛助会費収入が見込まれたので

控え目な見積りとして100口（500万円）を計上したが、他学会の現状からみても過大評価であった旨の回答があった。

また、1月開催のシンポジウム経費について質問があり、これに対して中沢会長から、シンポジウムの支出は22万円であるが会計年度のちがいから支出がゼロとなっている旨、回答があった。

これらの議論の後、挙手によって採決が行われ、第1期活動報告は満場一致で承認された。

## (2) 第2期活動方針案

中沢会長から、まず第2期の副会長、運営委員の紹介、監事候補（中野武宣、松田准一両会員）の公示があった。次いで、議案書をもとに第2期の活動方針案が会長から示された。特に財政基盤を定常的なものにすることが第2期前半の重要課題であることが強調された。次に杉浦財務専門委員長が、当分借入金返済はしないこと、第1期は9ヶ月と短かったが今期より12ヶ月になりその為昨年度より支出が増えること、などを骨子とした1993年予算案について説明した。

これに対し、渡部会員から、借入金返済をしないのはどうか、と質問があり、杉浦財務専門委員長から「早く返済できるよう考えていきたい」との回答であった。また、天文学会ではスライド写真集、絵はがきなどの販売によって収益が上がっ

ているが、似たような工夫ができないか、という渡部会員からの提案があった。これに対して、中沢会長は、個人資料ではないものを売り捌くことにはやや問題があるが、増収を目指して今後工夫していく必要がある、と述べた。また、高岡会員から、会誌への広告掲載による収入は期待できないか、という提案があり、杉浦財務専門委員長は、もしあれば杉浦委員長か編集委員に連絡して欲しい、旨応えた。渡部会員からは、賛助会員になった場合に賛助会員側に何かメリットがないと賛助会員が増えないのではないかと趣旨の質問があった。これに対して中沢会長からは、賛助会員名は会誌に毎号記載されているが、今のところ段階のメリットはない、但し惑星科学会が学術団体として認められて寄付行為ということになれば企業側にもある種のメリットは生じる、旨の回答があった。

これらの議論の後、挙手により採決され、活動方針は満場一致で承認された。

以上、約1時間ほどで第1回総会は終了した。終了後、中沢会長の提案により活動一般について自由討論を行った。その中で、各会員から学会講演会のあり方について多くの意見が出された。

（記録 阿部豊）

## ◇日本惑星科学会第2期役員名簿

## 会長

中澤 清 (東工大・理)

## 副会長

武田 弘 (東大・理)

水谷 仁 (宇宙研)

## 運営委員・幹事・財務専門委員長

杉浦 直治 (東大・理)

## 運営委員・幹事・総務専門委員長

藤原 顕 (宇宙研)

## 運営委員・編集専門委員長

向井 正 (神戸大・理)

## 運営委員・将来計画専門委員長

留岡 和重 (神戸大・理)

## 運営委員・対外協力専門委員長

松井 孝典 (東大・理)

## 運営委員

荒川 政彦 (北大・低温研)

大谷 栄治 (東北大・理)

川口淳一郎 (宇宙研)

北村 雅夫 (京大・理)

佐々木 晶 (東大・理)

高木 靖彦 (東邦学園短大)

土山 明 (阪大・教養)

寺沢 敏夫 (東大・理)

林 正彦 (東大・理)

福岡 孝昭 (学習院大・理)

藤井 直之 (名古屋大・理)

村江 達士 (九大・理)

柳川 弘志 (三菱化成)

矢内 桂三 (極地研)

山本 哲生 (宇宙研)

## ◇日本惑星科学会賛助会員名簿

賛助会員として本学会にご協力下さった団体は下記の通りです。社名等を掲載し、敬意と感謝の意を表します(五十音順・1993年4月12日現在)。

(株)大林組

清水建設(株)宇宙開発室

(株)ジュンテンドー

(株)竹中工務店

(財)日本宇宙少年団

日本電気(株)宇宙開発事業部

(株)パスコ

(株)日立製作所

(株)本田技術研究所

(株)三菱プレシジョン

(財)リモートセンシング技術センター